

プロジェクター

経年劣化に強いDLPプロジェクター

詳しくはWEBで <http://jp.os-worldwide.com/products/optoma/>

EP7155i/EP1691i



ウルトラモバイルプロジェクター
コンパクトサイズで
高パフォーマンスを実現。
3000lmウルトラモバイル
プロジェクター。



- クラス最軽量、最小2780ccのウルトラモバイルプロジェクター
EP7155i: 1400g EP1691i: 1450g
- デジタル機器に対応するHDMI端子付
- 忠実な色彩表現を可能にしたプリリアントカラー™搭載
- 解像度 EP7155i: XGA(1024×768) EP1691i: WXGA(1280×800)

型式	EP7155i	EP1691i
表示素子	0.55型 XGA(1024×768) DC2 DMD™パネル	0.65型 WXGA(1280×800) DC2 DMD™パネル
アスペクト比	4:3/16:9	16:10/4:3
明るさ(輝度)	3000 ルーメン	
コントラスト比	2500:1	
投写距離(16:9)	1.5(33.55型)~ 12(310.82型)m	1.5(39.13型)~10(300.09型)m (テレ端:1.5~6m)
ビデオ対応信号	HDTV(720P, 1080i/p), SDTV(480i, 576p), NTSC, NTSC4.43, PAL, PAL-M, PAL-N, SECAM	
コンピューター信号	UXGA, SXGA, XGA, SVGA, VGA, Macintosh	WXGA+, UXGA, SXGA, WXGA, XGA, SVGA, VGA, Macintosh
入力端子	HDMI, VGA(RGB), S-Video, Video, Audio, USB(ワイヤレスマウス)	
スピーカー	1W×1	
騒音値	36dB(ノーマルモード)	
消費電力	300W(待機時5W)	
外形寸法(突起部含まず)	220(W)×71(H)×178(D)mm	
製品質量	1.40kg	1.45kg

EX525ST

短焦点高画質マルチメディアプロジェクター
スリムなボディに凝縮
驚きの超短焦点技術と
脅威の色彩技術



- モバイル性も兼ね備えたコンパクトボディ
- 僅か73cmの距離で実現する60型のイメージサイズ
3.66mでも、歪みのないクリアな300型を投写
- インタラクティブホワイトボードなどへの投写距離が短いために、
自分の影が写りにくく、プレゼンテーションのストレスフリー
- 上位機種並みの2500ルーメン
- 教室でも十分な音量の8Wスピーカー内蔵

表示素子	0.55型XGA(1024x768) DMD パネル	
アスペクト比	4:3(16:9)	
明るさ(輝度)	2500 ルーメン	
コントラスト比	2200:1	
投写距離(16:9)	0.5(41型)~3.7(303.8型)m	
ビデオ対応信号	HDTV(576i/p, 480i/p, 720p/1080i)NTSC, NTSC4.43, PAL, PAL-M, PAL-N, SECAM,	
コンピューター信号	UXGA, SXGA, WXGA, XGA, SVGA, VGA, Macintosh, iMac	
スピーカー	8W×1	
騒音値	28dB	
消費電力	280W(待機時12W)	
外形寸法(突起部含まず)	339(W)×122(H)×276(D)mm	
製品質量	4.3kg	

DLPプロジェクターをリードするオプトマ



Optoma本社

オプトマの前身、コアトロニック社は世界で始めて10ボンド(4.5kg)を切るDLPプロジェクターの開発に成功するなど、早くからDLPプロジェクターに注力し、業務用・民生用を問わず、世界の主要なメーカーにOEM提供もしている、世界有数のトップメーカーです。オプトマ社は2002年、自社の世界戦略ブランド確立のために独立創業しました。以来、オプトマは、USA、カナダ、メキシコ、イギリス、フランスなどで、DLPプロジェクターをリードするブランドとして、躍進してきました。オプトマのプロジェクターは、DLPチップの持つ優れた特長を余すところ無く生かし、更にユーザーの要求を満たすオプトマ独自の技術を投入しています。2005年に発売された

DV10は、オールインワンプロジェクターとして、アメリカのCES(全米家電協会主催コンベンション)で最も進んだデザインのプロジェクターと言う評価を受けました。また、2008年11月に世界同時発売されたPK101は世界最小・最軽量のポケットプロジェクターの先駆となり、新しいカテゴリーを築いています。現在では、多くのディストリビュータ様、ディーラー様を始め、専門店様や個人ユースなど、ビジネスシーンからホームシアターまで、大型画面にクオリティを求める人々に信頼を得ているプロジェクターです。日本では2005年オーエスグループが日本国内販売契約を結び、(株)オーエス、(株)オーエスプラスEがお届けしています。

日本におけるOptomaプロジェクターのサポート

過去、日本市場で販売されたOptoma製品につきましては、
オーエスグループ(株式会社オーエス、株式会社オーエスプラスE)がサポートいたします。

- 保証期間を経過したものににつきましては、有償修理となります。
- 保証期間中でも保証書が無い、あるいは紛失した場合には、有償修理となります。
- 海外でお求めになりました製品につきましては、サポート対象外となります。
- リアプロジェクションテレビにつきましては、サポート対象外となります。
- サポートにあたりましては、お求めの販売店、シリアルナンバーをお知らせください。
- 製品によりましては、補修部品のお取り寄せ期間をいただきますのでご了承ください。
- 製品によりましては補修部品が無く、サポートできない場合がございますがご了承ください。

●仕様・外觀は予告なく変更する場合があります。●カタログの色は実際の色とは印刷の関係で、多少異なります。●ランプはその性質上、使用状況や環境などで寿命に大きな差があります。●カタログ値は保証値ではありません。●DLP™、DMD™はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。●SVGA、XGA、WXGA™はIBMcorp.の登録商標です。●記載されているその他商品名、社名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。